

井川町土地改良区

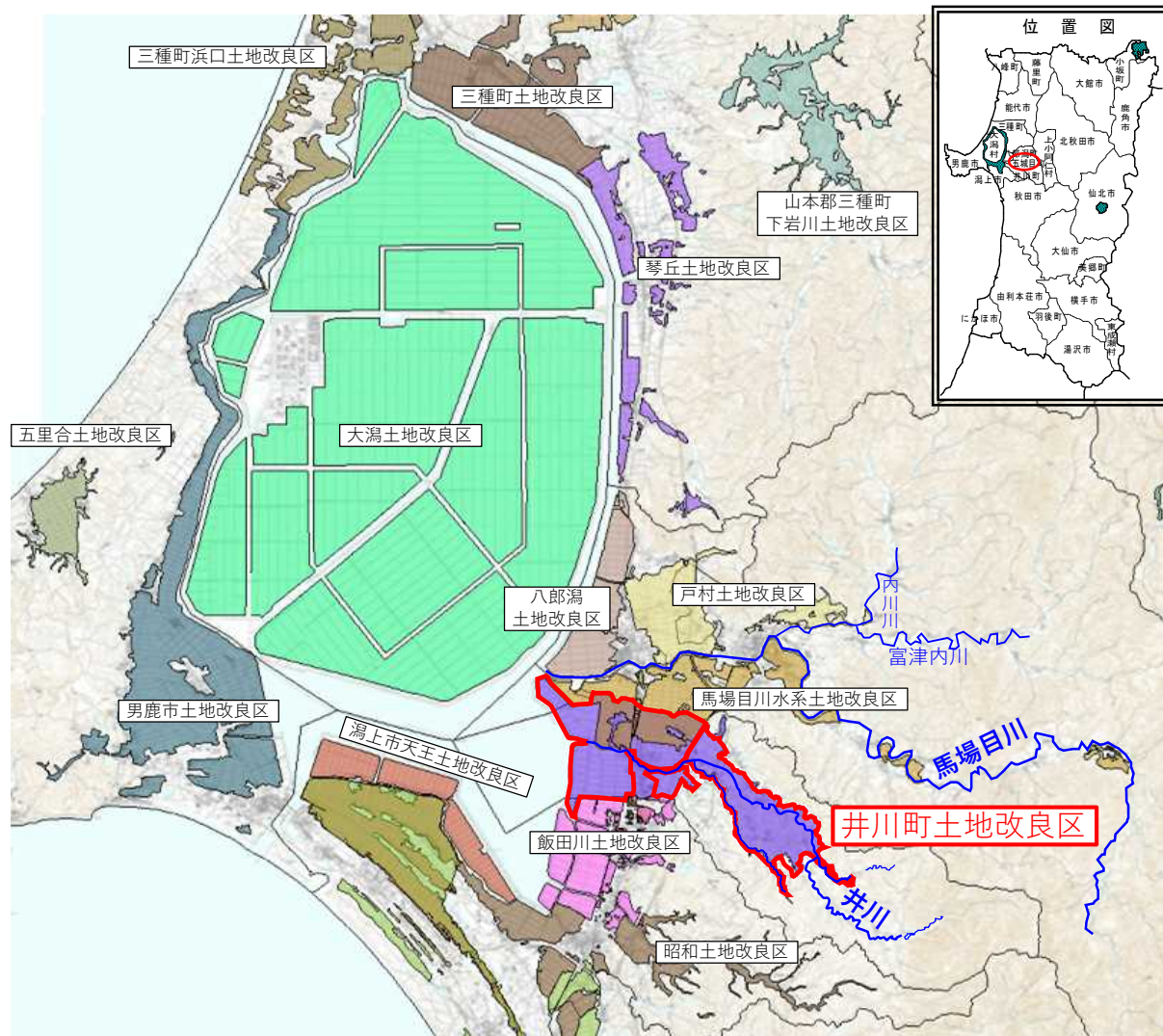
受益面積 1,036ha

- 井川町の中央を流れる二級河川「井川」の中～下流を受益とする土地改良区（水源・取水施設は井川水系上流部にも存在）。
- 土地改良区の上流側はため池や頭首工を水源とした重力による灌漑だが、下流側では加えて揚水機場や干拓地での排水などの施設も多い。

田代沢ため池



北川尻頭首工



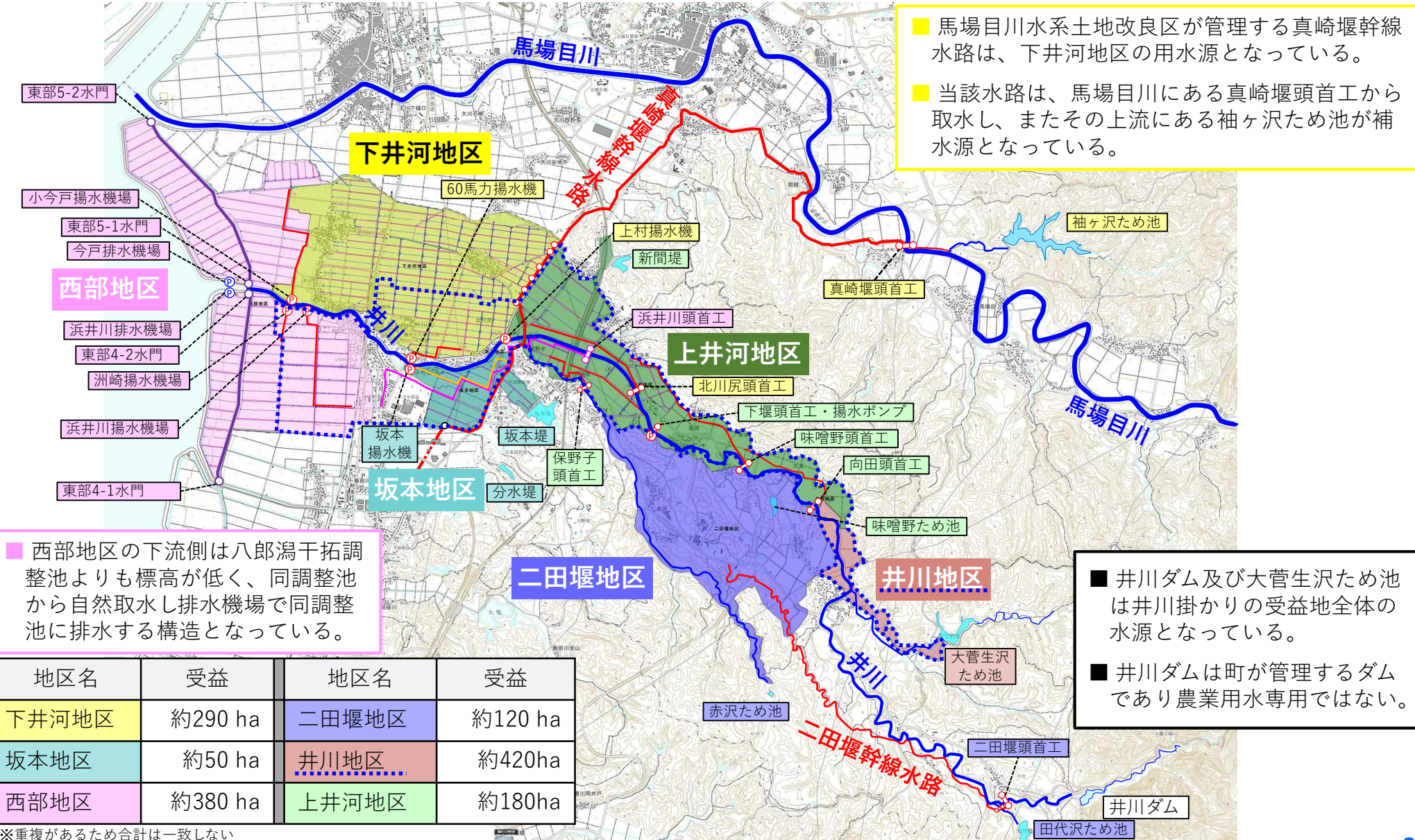
【内 容】

- 地区の構成
 - ・（全地区に係る水源）（井川ダム）井川町が管理
- 水利システムの概要【二田堰地区／井川地区】
 - ・（二田堰地区の施設）田代沢ため池
 - ・（二田堰地区の施設）赤沢ため池
 - ・（二田堰地区の施設）二田堰の長大な山腹水路
 - ・（井川地区の施設）大菅生沢ため池
- 水利システムの概要【上井河地区】
 - ・（上井河地区の施設）ため池・取水施設
- 水利システムの概要【下井河地区／坂本地区】
 - ・（下井河地区に関連する施設）真崎堰頭首工・幹線水路：馬場目川水系土地改良区による管理
 - ・（坂本地区の施設）ため池等
- 水利システムの概要【西部地区】
 - ・（西部地区（旧陸地）の施設）揚水機場
 - ・（西部地区（干拓地）の施設）排水機場等
- 施設の維持保全
- ほ場整備

作 成	秋田県 農業農村整備等技術検討委員会
協 力	・ 井川町土地改良区 ・ 井川町 ・ 秋田県土地改良事業団体連合会
作成経緯	ver. 1.0 令和 7 年 3 月
基本凡例	 ため池  頭首工  揚水機場  分水工  用水路  河川又は排水路 ※ 資料作成の都合上、必ずしもこれらのとおりの表記となっていない場合がある
出 典	・ 秋田県水土里情報システムのレイヤを使用したものは次のとおり 地形図：「測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R6JHs 74-GISMAP59536号」 航空写真：「© NTT InfraNet, JAXA」 衛星写真：「© NTT InfraNet, Maxar Technologies.」 ・ その他土地改良区提供資料など
備 考	本資料は、秋田県の農業を支える基盤であり、地域資源でもある農業水利施設について、土地改良区毎にその構成、歴史、維持管理等の概略を示し、土地改良区の組合員のみならず地域住民の皆様に対し広く周知するものです。 これにより、各地域の農業水利施設を保全管理することの重要性について理解を深めていただき、農業水利施設の持続的な機能発揮と秋田県の農業の発展の一助となることを目指しています。 本資料については、現地調査に加え、水土里情報システム内の資料、過去に実施した事業の資料、土地改良区からの提供資料、土地改良区からの聞き取りなどをベースに作成していることから、時点が古い情報や現状と比較し正確ではない情報が含まれていることがあります。このため、本資料を閲覧される方に置かれましては、このことを予め御了知いただくとともに、本資料を利用すること等により生じるトラブルや損害等については、秋田県ではその責任を負いかねますので、予めご了承ください。

地区の構成 受益地は6地区から構成され、井川、馬場目川、八郎潟干拓調整池等を水源とする

■ 井川町全域で1つの土地改良区であり6地区から構成される。なお、井川ダム及び大菅生沢ため池は、井川流域全体の水源となっている。



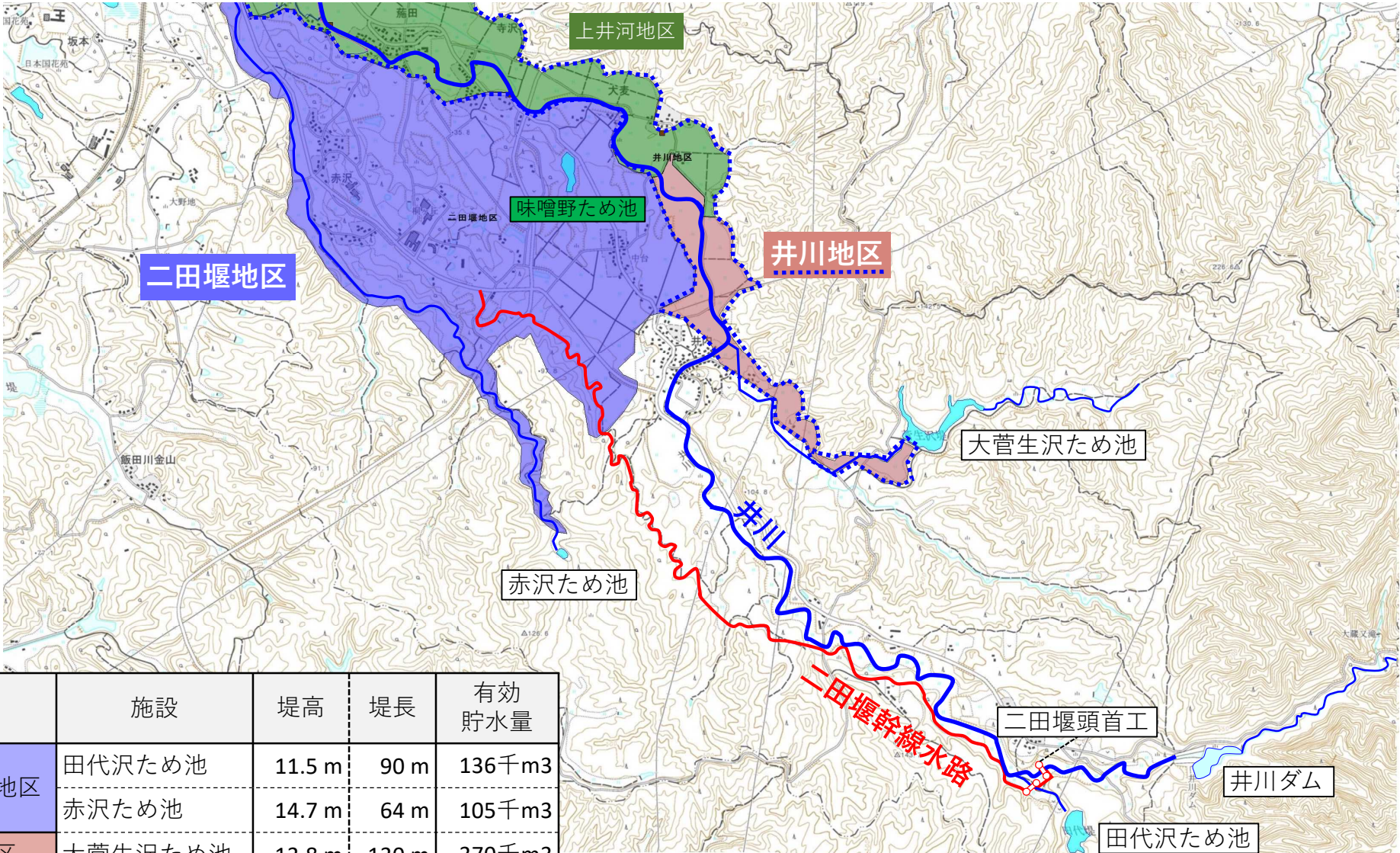
全地区に係る水源 (井川ダム) 井川町が管理

堤高	堤長	有効貯水量
6.7 m	42 m	80千m3



水利システムの概要 **二田堰地区／井川地区**

- 二田堰地区では、田代沢ため池を水源とし、井川ダム下流の二田堰頭首工から取水し、田代沢ため池下流の沢に注水し、二田堰幹線水路により受益地に導水する。導水路は、山際をほぼ等高線上に進む16kmに亘る長大な山腹水路である。
- 井川地区は、水源である大菅生沢ため池より井川に注水し、井川掛かり全域に補水を行うため、他の地区と重複がある。



二田堰地区の施設

(田代沢ため池)

形式	堤高	堤長	貯水量
アースダム 全面傾斜コア型	11.5 m	90 m	136千m3



田代沢ため池 竣工記念碑

碑文

二田堰の受益地百余ヘクタールは、幕末期から明治時代にかけて開田された台丘地で、恒常的な水不足地帯だった。田代沢ため池は、昭和八年、水不足に悩んだ先人達が英知を集めて築堤、その後井川ダムも築造されたが、なお主水源として今日に至っている。築後六十余年を経て、流入土砂の堆積のほか、堤体、余水吐け、取水施設は著しく老朽し、整備は受益者一同の宿願となった。

二田堰土地改良区は、この窮状を打開するため、役員、受益者が一致して関係機関と相はかり、平成三年県営ため池等整備事業として全面改修に着手、八年余の歳月をかけ待望の竣工をみた。平成九年四月、二田堰土地改良区をはじめ町内五土地改良区の合併により、ため池改修事業、施設の維持管理は新生の井川町土地改良区に引き継がれた。ここに、竣工の喜びと経緯を詳びらかにし、受益者一同と共に限りない未来を希求した記念碑を建立する。

平成十年五月二十一日
秋田県
旧二田堰土地改良区
井川町土地改良区



二田堰地区の施設 (赤沢ため池)

形式	堤高	堤長	貯水量
アースダム (全面傾斜コア型)	14.7 m	64 m	105 千m ³



堤体



堤体・貯水池



洪水吐



赤沢ため池竣工記念碑

碑文

赤沢川流域五十五ヘクタールは永年の間、河川の氾濫と旱魃被害との連続だった。

昭和六十三年河川改修がなると同時に、ため池修復の機運が盛りあがり、秋田県、井川町と相はかり、受益者一致協力のもと、宿願の事業を遂行した。今ここに先人の苦労を偲びつつ、美田を潤す水の流れに未来を託し竣工の碑を建立する。

平成六年八月吉日



二田堰地区の施設

(二田堰の長大な山腹水路)

先人達の技術の結晶

二田堰 導水路 (地区出口)



二田堰 導水路 (山腹)



二田堰 頭首工



田代沢ため池水路注水後の再取水



二田堰 土地改良完成記念碑

安政から明治に亘る先達の偉業によって延々16キロの水路と共に拓かれたこの地は、昭和8年田代沢ダムの建設を経て、疲弊せる農民活路の基となつたが厳しい環境下水不足とたび重なる旱魃に悩まされ耕作の辛苦は昼夜を分かつた。

昭和30年代新しい農業の台頭とともに抜本整備への意欲が高まり県議会議員齋藤正作氏村長鷺谷嘉兵衛氏の指導のもと全耕作者が奮起結集して同31年井川ダム建設に着手また同43年には土砂崩壊防止事業による幹線用水路改修に44年には農免農道整備に45年には大区画圃場整備に着手し、昭和48年3月幾多の苦難を克服してみごと主要工事を完成した。茲に宿願の近代農業基盤を確立した喜びを永遠に記念して碑を建立する。

昭和四十八年六月
井川村二田堰土地改良区



【土地改良区受益外】

二田堰頭首工の直下流の小規模取水堰群



井川地区の施設

(大菅生沢ため池)

形式	堤高	堤長	貯水量
アースダム 全面傾斜コア型	13.8 m	130 m	370千m3



貯水池・堤体



貯水池



大菅生沢ため池 竣工記念碑

事業の沿革

大菅生沢ため池は、井川町の南東六キロメートルの井川支流大菅生沢に位置し、その下流四百六ヘクタールにかんがいしているため池である。

本ため池は、築造後四十四年を経過しており、以来関係者は施設の維持保全に務めてきたが、年月の経過とともにため池全体の老朽化が進み、堤体、余水吐、取水施設からの漏水が著しく、かんがい用水の取水はもとより治水及び防災上からも回収を余儀なくされる状況であった。

この時にあたり関係者は、地域の用水不足を解消し生産性の向上をはかり安定した営農を確立するため、事業の実施に向けて鋭意努力して来たところ昭和五十七年度に県営ため池等整備事業として着工、総事業費三〇五、一二六千円を投じ平成元年度をもって完成した。ここに事業完成後の歎を深く刻み、後世の証とするものである。

平成元年十月吉日

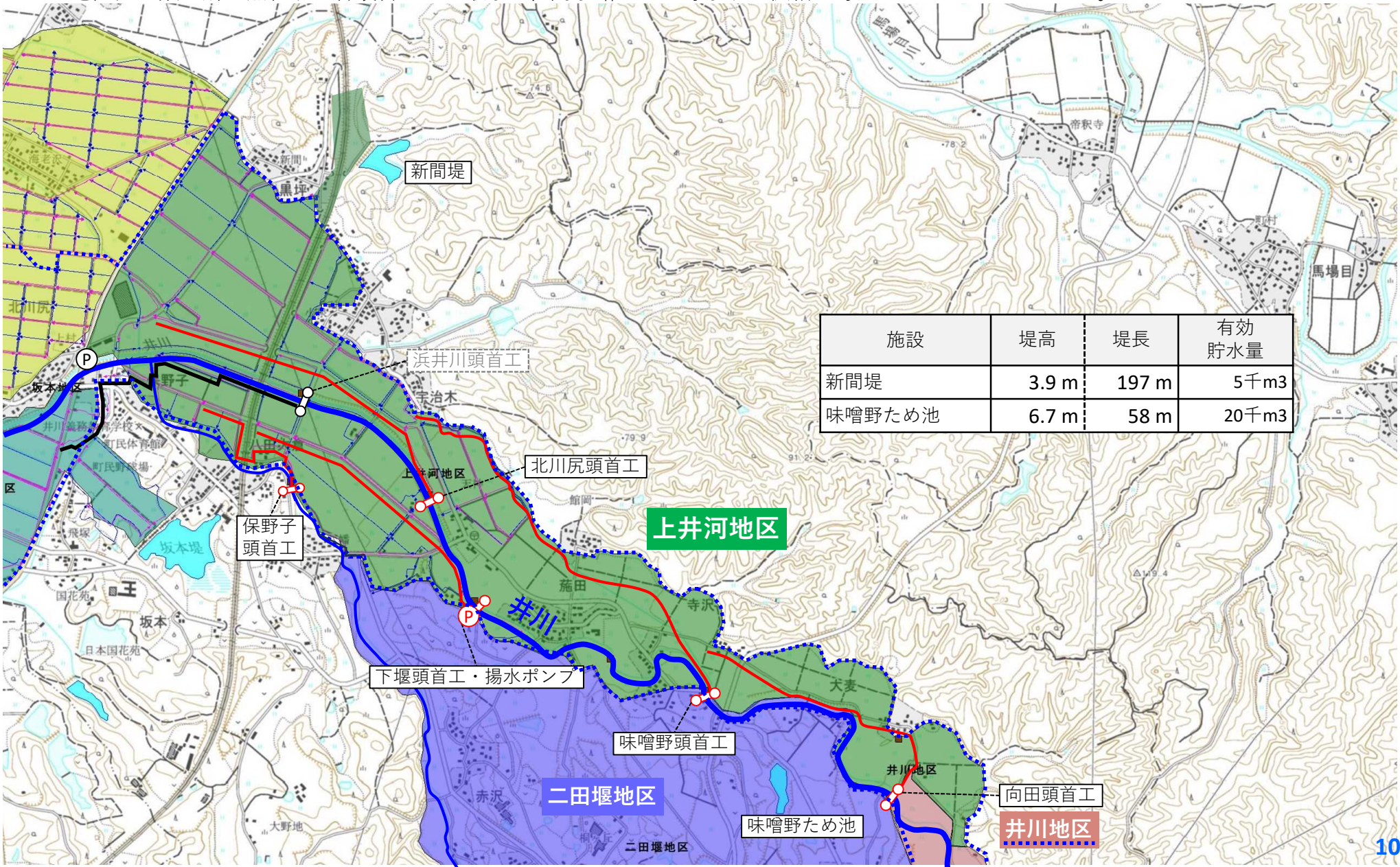


農業水利システム

上井河地区

点在する頭首工から開水路に取水・送水する供給主導型システム

・ 地区内の数ヵ所に点在する各頭首工から取水し、開水路により導水する供給主導型システムとなっている。



上井河地区の施設 (ため池・取水施設)

名称	形式	堤高	堤長	貯水量
新聞堤	アースダム前刃金型	3.9 m	197 m	5千m3
味噌野ため池	アースダム均一型	6.7 m	58.0 m	20千m3



味噌野頭首工



向田頭首工



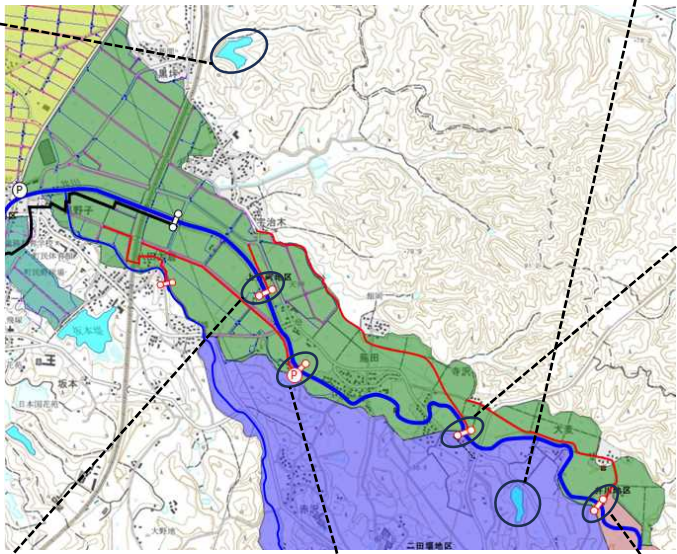
下堰頭首工・揚水ポンプ



北川尻頭首工

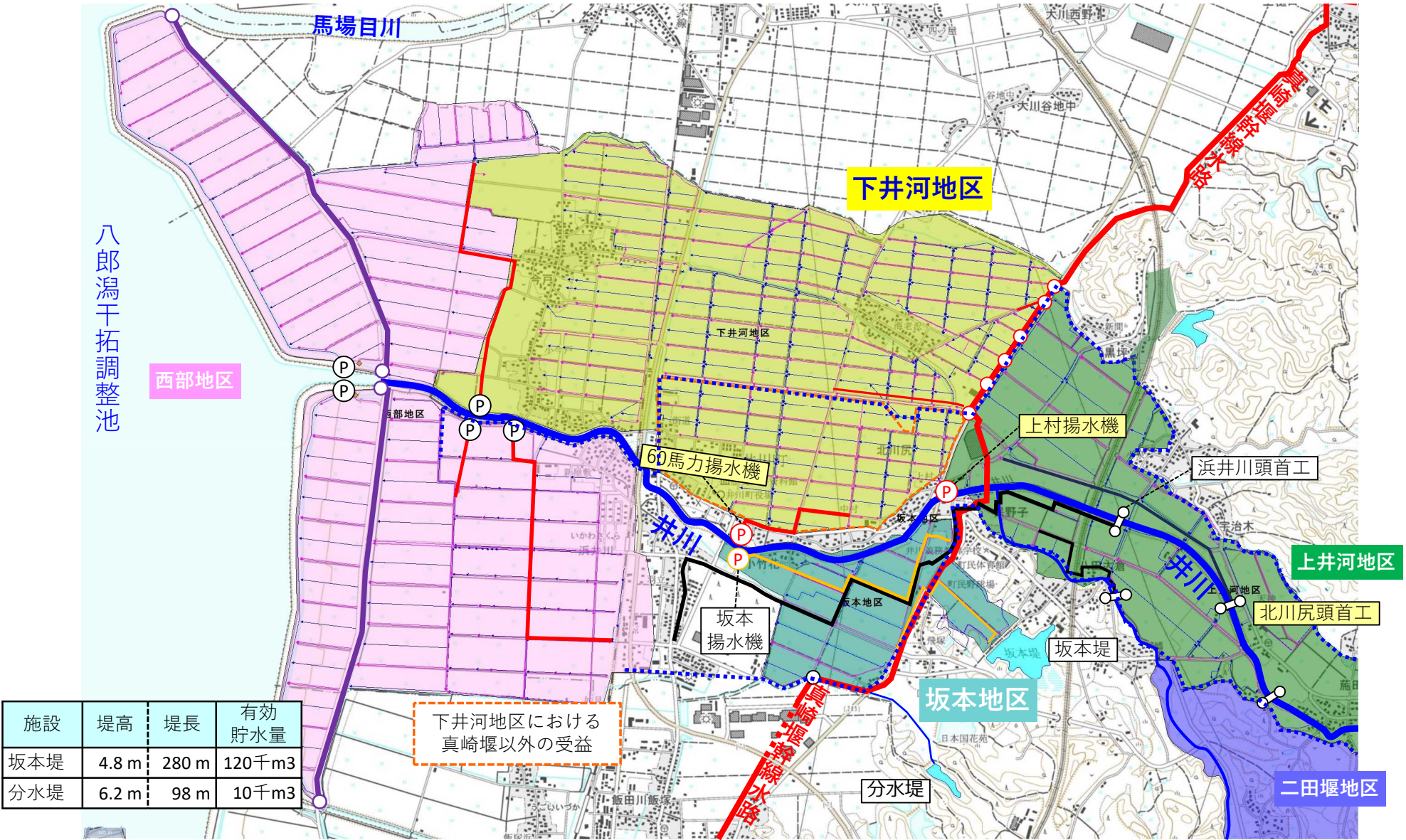


新聞堤



農業水利システム 下井河地区／坂本地区 地区ごとに真崎堰・揚水機・ため池を水源とする

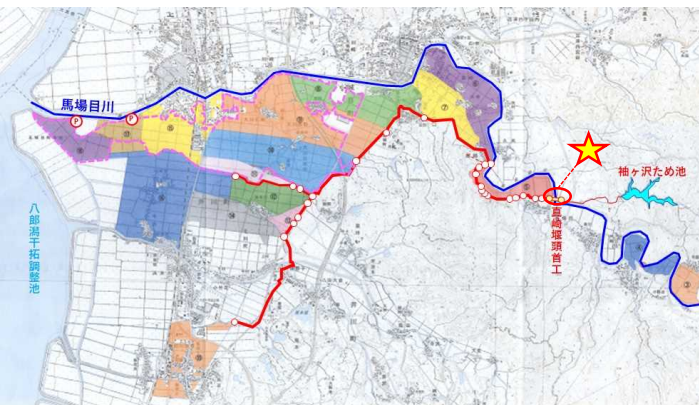
- 下井河地区；北部は馬場目川から取水する真崎堰幹線水路（馬場目川水系土地改良区による管理）を主要水源とする。また、地区の南東部は60馬力揚水機、北川尻頭首工及び上村揚水機掛かりとなっている。
- 坂本地区：日本国花苑に隣接する坂本ため池・分水ため池に加え、坂本揚水機が水源。



下井河地区に関連する施設

(真崎堰頭首工・幹線水路：馬場目川水系土地改良区による管理)

- 真崎堰頭首工は馬場目川の中流域から取水する施設であり、幹線用水路は山沿いに西⇒南西へと回り込み、五城目町・井川町・潟上市の受益地に用水供給を行う。
- 頭首工の直上流右岸側からは、袖ヶ沢ため池からの補給水が注水される。



石碑は語る

竣工記念碑

真崎堰かんがい排水事業は元和八年真崎家により開掘された水路を全面改良舗装したものであり 袖ヶ沢老朽ため池事業は昭和十一年県営事業として築造されたものを全面改修したものである

画期的両大事業の完成は一千名組合員及び総代の協力と関係役員の努力が実を結んだものである。

県営かんがい排水事業

総事業費 二億二千九十八万円

水路舗装延長 一万一千二百二十二米

工事期間 昭和三十九年度から七ヶ年

県営老朽ため池事業

総事業費 一億六千七百七十九千円

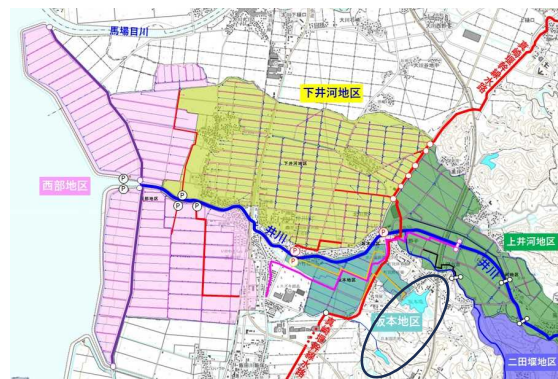
工事期間 昭和四十六年度から五ヶ年



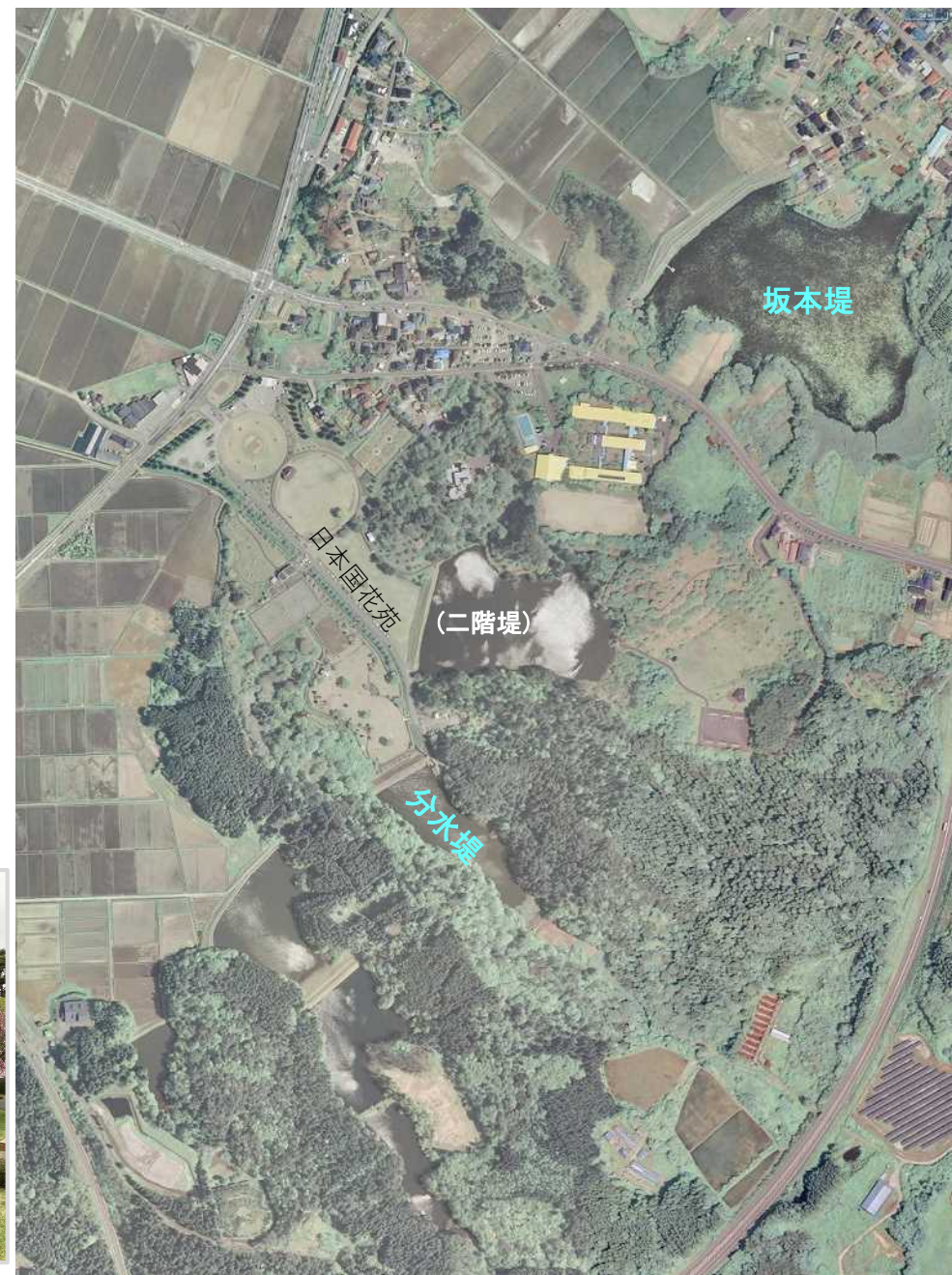
坂本地区の施設

(ため池等)

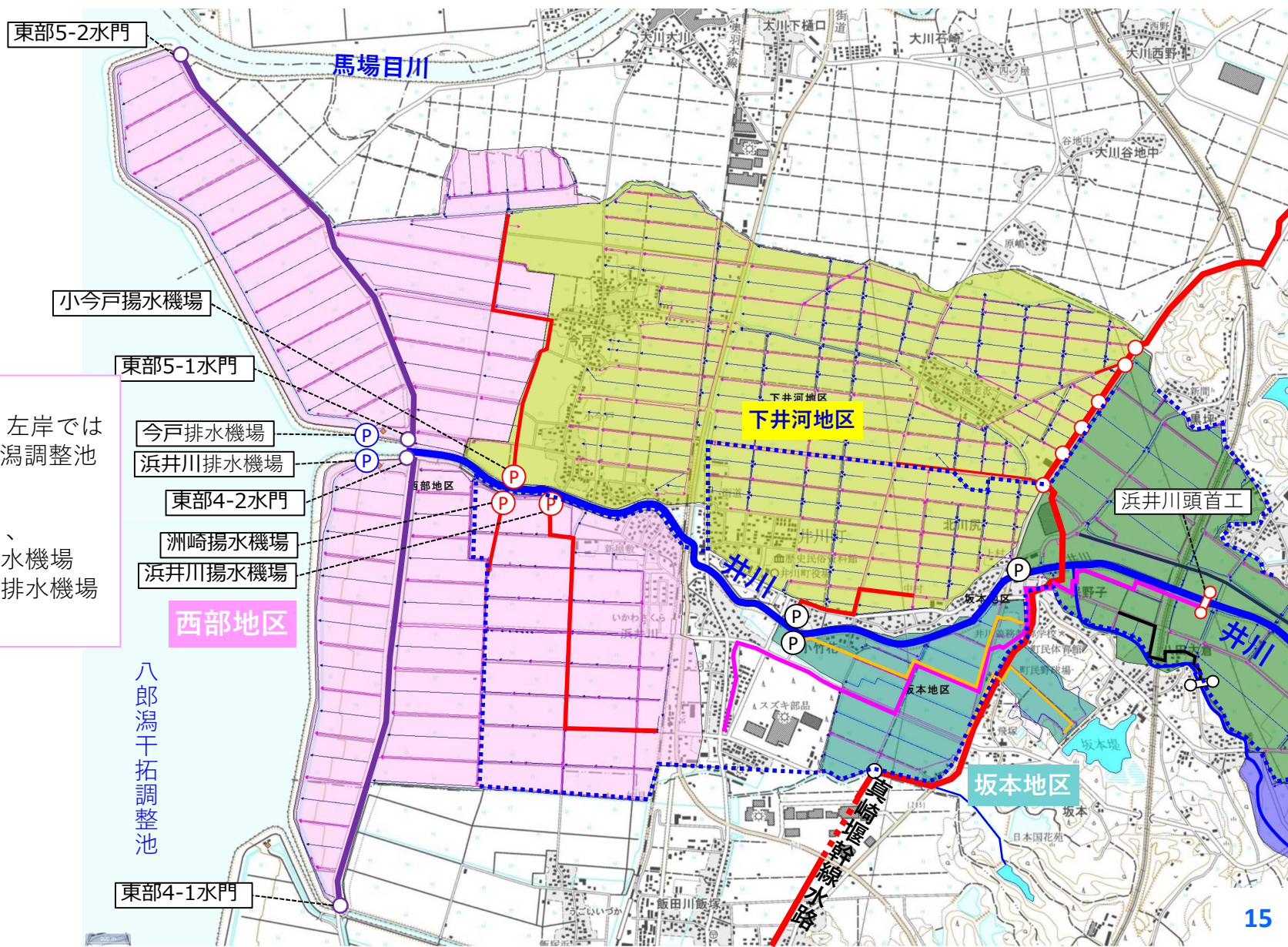
改良区	名称	形式	堤高	堤長	貯水量
井川町	坂本堤	アースダム 均一型	4.8 m	280 m	120千m3
(飯田川)	(二階堤)		3.0 m	100 m	25千m3
井川町	分水堤	アースダム 均一型	6.2 m	98 m	10千m3



(参考) 日本国花苑と二階堤 (飯田川土地改良区)



- 地区東側の旧陸地部分は八郎潟調整池より標高が高い。右岸は小今戸、左岸は浜井川・洲崎の揚水機場が水源。
- 地区西側の地先干拓部分は八郎潟調整池より標高が低い。左右岸とも八郎潟調整池の水を承水路に流入させ重力で農地に灌漑。



【干拓地】

- 右岸では第5排水機場、左岸では第4排水機場により八郎潟調整池に排水。
- 県営湛水防除事業により、
 - ・ 第5排水機場⇒今戸排水機場
 - ・ 第4排水機場⇒浜井川排水機場に更新中。

西部地区（旧陸地）の施設 （揚水機場）



小今戸揚水機場



洲崎揚水機場



浜井川パイプライン揚水機場

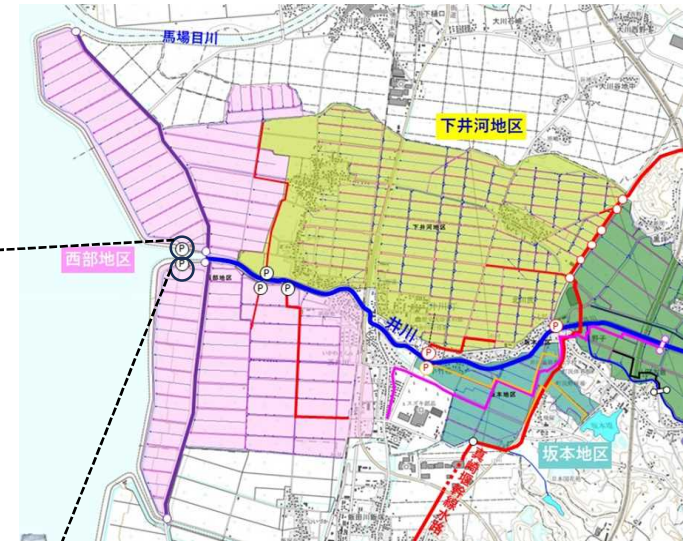


西部地区（干拓地）の施設（排水機場等）

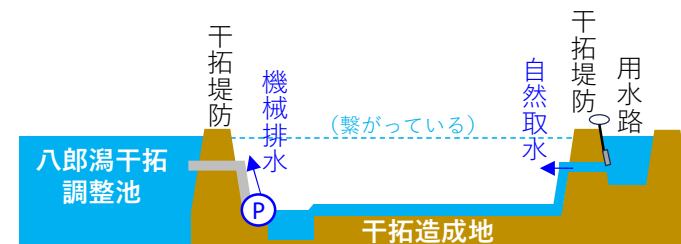
今戸排水機場



浜井川排水機場



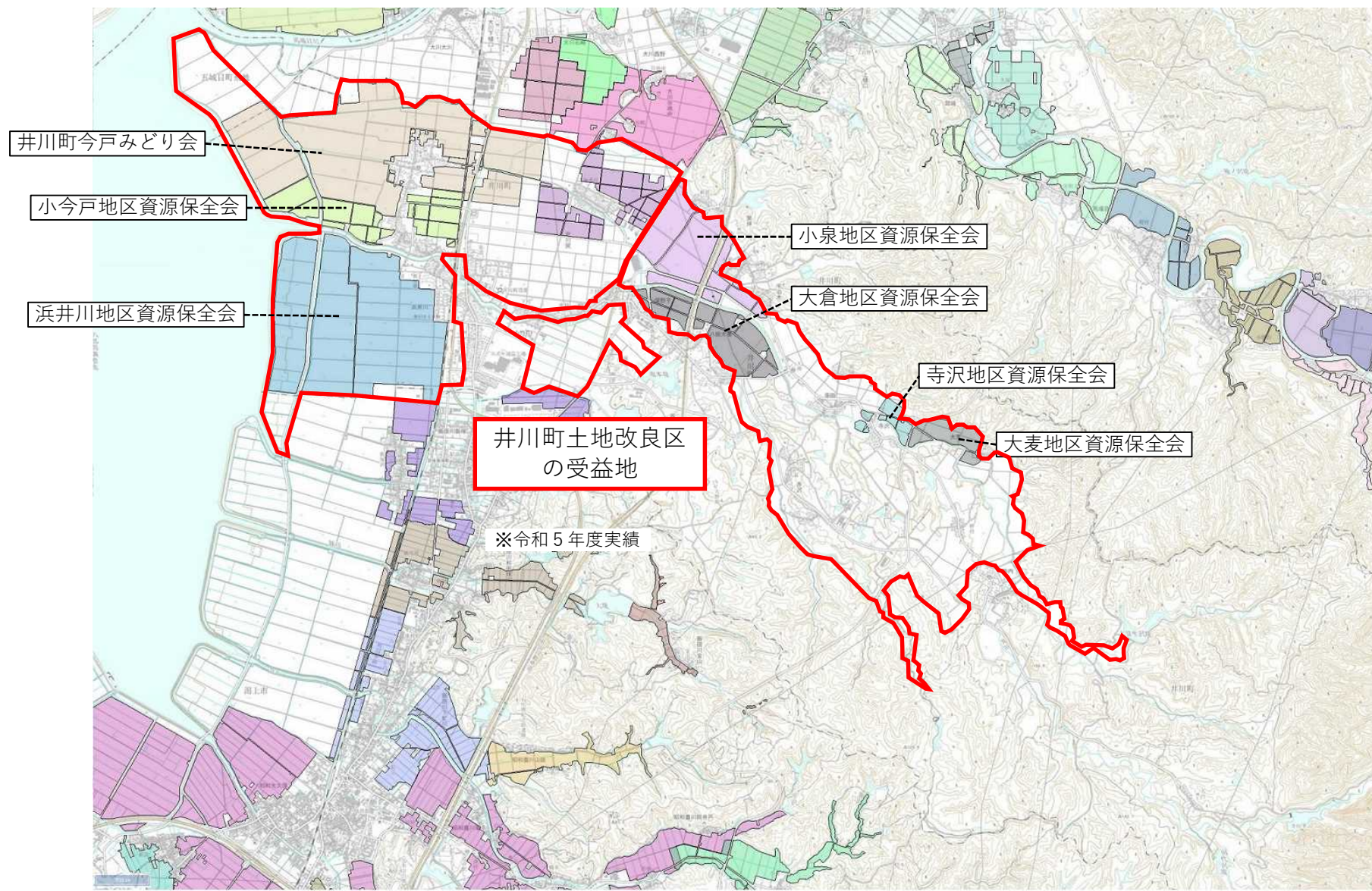
- 東側の干拓造成地用の水路は西側の干拓調整池と繋がっており同水位。
- 干拓調整池よりも干拓造成地の標高が低いため、自然取水が可能だが、取水した量や降雨分を常に排水する必要。



施設の維持保全

井川下流域において多面活動組織のカバーエリアの割合が高い

- 井川の下流域では、7の多面活動組織のカバーエリアの割合が高いが、上流部は比較的少ない。
- 土地改良区は、大半の組織の構成員となっており、うち6の組織の事務を受託している。



平成初期から平成中期にかけ、4地区ではほ場整備事業を実施

